

附属幼稚園だより 第4号

令和4年6月27日発行 文責:室野亜津子

「したい 知りたい やってみよう」
がっぱいの幼稚園

プール開き

保護者の皆様にきれいにしていただいたイルカプールに、6月22日に初めて入りました。一番目は年長さん。それを滑り台の上や砂場のところから見ていた年中さん。なぜ、イルカプールと呼んでいるかというと、プールの底にイルカの絵が描いてあるからです。上から見ていた年中さんが、ゆらゆら揺れるプールの水を見ながら「イルカが泳いでみたい。」と言っていました。

学校ではプールに入る前に、プール開きといって、校長や数名の職員でお酒や塩で清めて、誰一人水の事故にあうことがないように祈願するということをしているところが今でもたくさんあります。附属幼稚園でも降園後、数名の職員でプール開きをしていたようです。

私が園長として着任してから、プール開きを保育の中で行うことにしました。年長さんが幼稚園代表です。神主さんと呼ぶわけでもなく、私がお酒と塩で清めたところで、効力があるわけでもないでしょうが、水の事故にあわないように年長さんと一緒に願うことに意味があります。「水の神様」というイメージをもち、水は楽しいけれど、ふざけたり約束を守らなかつたりしたら、怖いものなんだということを感じ取ることができたのではないのでしょうか。

みんなが安全に楽しく過ごせますように。

イルカプール予定：6月28日 30日 7月1日（年中のみ） 8日 11日 12日 13日

タン布林に届きたい

ある朝、緑の道にタン布林を上から吊るしておきました。子どもたちが登園したら、巧技台を設置してジャンプして遊べるようにと考えて、巧技台は緑の道の隅の方に寄せておきました。

子どもたちは、高いところにタン布林があるというだけで、「手が届きたい」という願いをもち、ジャンプします（挑戦意欲）。でも、高すぎて届きません。すると、子どもたちは自分たちで巧技台を重ね始めました（課題解決力）。タン布林に手が届きそうな高さや距離を考えながら（思考力）。マットを持って来て安全に着地できるようにした子どももいました（安全を考える力）。

私はそばで見守りながら、「子どもは、教師の予想を超えて、素晴らしい力を発揮するのだなあ。」と感動し、子どもの育ちを嬉しく思いました。

7月行事

- 1（金） 虫博士の話（年長）
ほしの子ランド中止
- 4（月） 交通安全教室
- 5（火） 研究保育（うめ・ふじ）
- 6（水） 研究保育（もも・さくら）
- 7（木） 七夕会
- 8（金） 弁当終了日
- 11（月） 保育参観（任意）～12日（火）
- 14（木） 学級懇談会
- 15（金） 夏休み前の会
- 19（火） 園庭開放（未就園児）